

「希少糖分子の老化に伴う脳内蓄積および認知症発症との関連解明」 に関する情報公開

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象とする下記の共同研究を実施しております。本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

希少糖分子の老化に伴う脳内蓄積および認知症発症との関連解明

●研究の対象

2001年7月～2020年3月に病理解剖を施され、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、亡くなられたときに85歳以上で認知症があった方、85歳以上で認知症のない方、50歳から64歳で認知症のない方。

●研究の期間

2020年7月から **2024年3月まで**

●研究の目的

認知症の発症機序を明らかにすることは、将来の医学の発展のために重要です。希少糖分子である Neu5Gc は記憶の障害因子であり、ラットでは老化に伴って海馬に蓄積することが明らかにされています。本研究では、ヒトにおける Neu5Gc の老化に伴う脳内蓄積と認知症発症との関連を解明いたします。

●研究の方法

ヒト死後脳を用いて、高速液体クロマトグラフィー、免疫組織染色、ウェスタンブロットティング、薄層クロマトグラフィー、ELISAにより、Neu5Gc やアミロイドについての定量的解析を行います。認知症の有無、年齢で結果を比較検討いたします。老化または認知症発症に関連して Neu5Gc の発現の増加が認められた場合には、アミロイドの定量および Neu5Gc が含まれるタンパク質及び脂質の同定を行います。

●研究に使用する試料・情報

非認知症中年期（10検体）および非認知症高年期（12検体）、認知症患者高年期（12検体）症例の死後脳検体（前頭葉）とそれに付随する情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク

齊藤祐子

村山繁雄

静岡県立大学

南 彰（主たる研究者）

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の取り消しなどの十分なお対応ができない場合がありますことをご理解ください。なお、研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。

【問い合わせ先】

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク／神経病理 齊藤祐子

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）